事業所名　すがの親愛ホーム

作成日：令和 5年　12月　14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	年間通して離職率が高く、特に職歴が浅い職員の離職が多い。直接雇用職員の育成が課題。 また、臨時的に採用を行う人材派遣職員にも情報共有を行うシステムを構築できていない。	就業環境の整備を行い、離職を減らしていく。介護未経験者に、【仕事の楽しみや充実】を管理者やケアマネージャーが伝えていく。	併設施設の【すがの親愛の家】と職員教育の差別化を図り、独自の教育体制を新管理者の下、行っていく。	3ヶ月
2	33	法定研修委員会の内容を充実させていく。【看取り】【感染】【身体拘束・虐待】については、さらに充実した研修内容にしていく。	本年度は【看取り介護】を実施し、その際の経験や知識、心配りを職員全員に周知させていく。	各種委員会の担当者を確定し、本当に現場で必要な知識や情報を中心に研修を行っていく。	3ヶ月
3	35	災害時の避難訓練を定期的に実施できていない。また、最新の情報に合わせて、避難確保計画を再考する。	水害時だけではなく、火災時等のマニュアルを整備し、より具体的な指示系統を構築する。	まず、本年度中に火災時避難訓練を実施する。それには、可能な限りの職員を参加させ、フロアに拘らない連携体制を作る。	6ヶ月
4					
5					